

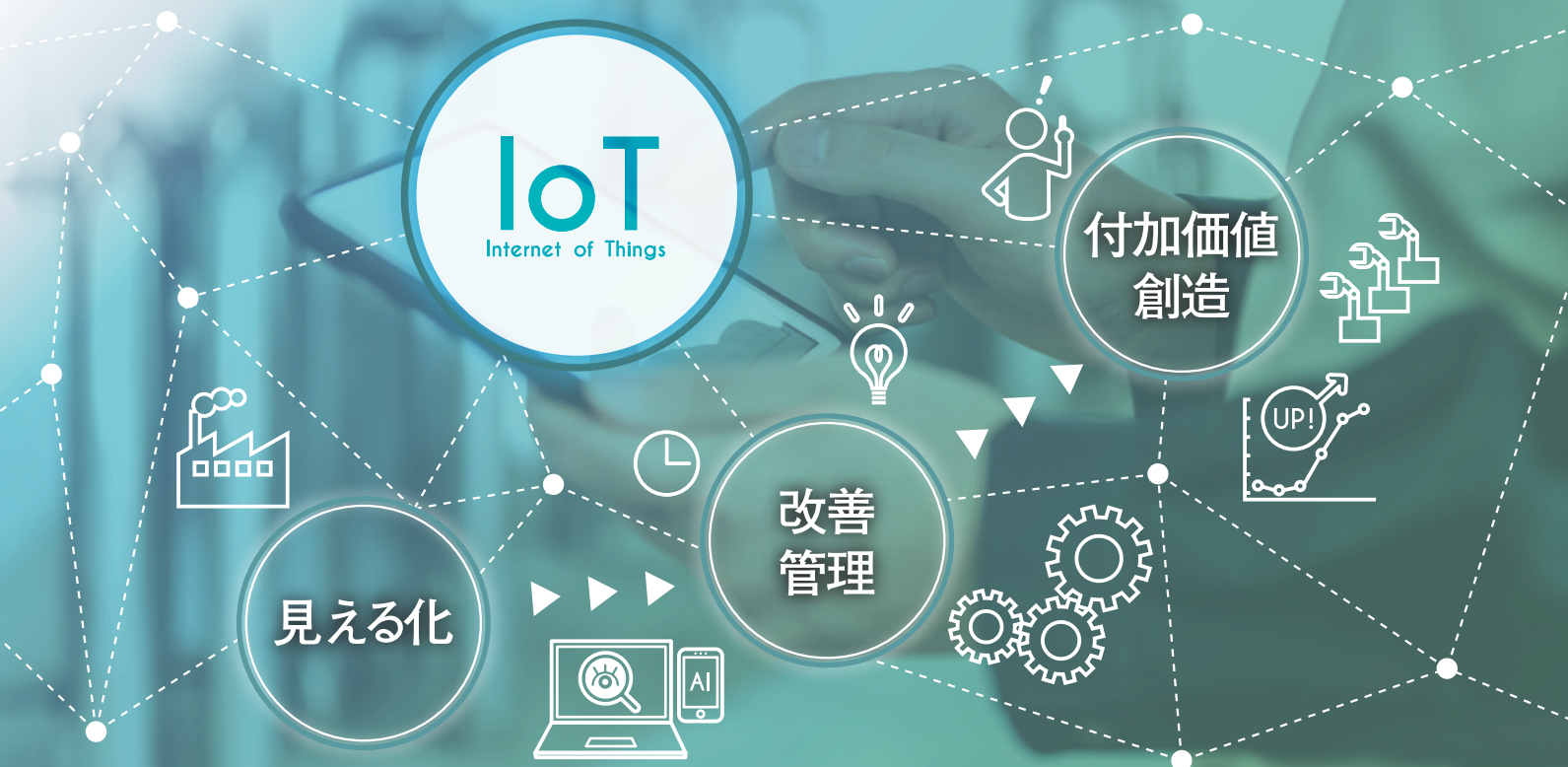
やってみよう！

～今、ものづくり現場で叫ばれる「IoT」の導入…その実力は!?～

## 3つのステップで学ぶIoT

参加費  
無料定員  
20名

※定員：1社最大2名まで



人やモノなどあらゆるものを”つなげて”生産性を高めるテクノロジー「IoT」…

この未経験のシステムに対し「技術が難しくよく分からない」「自社にどのようなメリットがあるのか分からない」と考える中小企業の皆様も多いのではないのでしょうか。

そこで、ものづくり現場の「IoT」をテーマに、その導入効果や導入プロセスを学んでいただけるセミナーを開催します。

講師はインダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ (IVI) の幹事会員であるマツダ(株)からIoTのスペシャリストを招聘! 「よく分からない??」を「分かった!!」に変える2日間のセミナー、皆さまの参加をお待ちしております!

福山会場

2019.

10.4 金 5 土

time / 10:30～17:30

福山市ものづくり交流館  
(福山市西町1-1-1) ※裏面に地図あり受講  
対象者

製造業に属し、

- IT化に問題意識を持つ現場責任者 及び
- 現場・業務改革に取り組む情報システム担当者等

共催

協力

自社の課題により身近なテーマを題材に、あるべき姿のシナリオとその実現手段を、ステップを踏みながらグループ演習で考えます。

## Day 1

 「IoT」とは

序論 IoTの導入効果を事例に基づき説明します

## Step 1

課題 現状の課題を明らかにし、  
目指す姿を定めます。

グループに分かれて会社ごとの異なる課題を整理し、  
つながることで得られる理想的な姿を議論します。

## Step 2

AS-IS 具体的な業務場面から、  
現状のシナリオを描きます。

現状の業務の実態を場面ごとに役者とその活動として記述  
します。モノと情報の流れがどうなっているかを明らかにします。

## Day 2

## Step 3

TO-BE あるべき姿のシナリオと  
その実現手段を描きます。

デジタル化によって、モノや情報の流れをデータに  
置き換えた新たな場面を定義します。  
また、TO-BEが作り出す価値についても検討します。

 事例紹介

中小製造業での取り組み事例を紹介します。

 デモ体験

IoT簡易ツール(各種データを収集する基本ユニット)を  
紹介し、体験していただきます。

## お申し込み方法

## ホームページのお申し込みフォームからの受付になります

申込期限	令和元年 9月17日(火)	
Web	<a href="https://www.hiwave.or.jp/event/18959">https://www.hiwave.or.jp/event/18959</a>	
注意事項	ワークグループのグループ分けの参考とするため、受講決定者には 事前にメールで「課題カード」をお送りします ▶▶▶ ご記入いただき、ご返信をお願いいたします	

## 福山会場



## 留意事項

- 受講申込後10日以内に、メールにより受付確認連絡(受講の可否含む)を差し上げます。連絡がない場合は、必ず事務局へお問合せください。
- ご記入いただいた情報は、各共催機関にて管理し、法令に定める場合を除き第三者へ提供することはありません。今後、各共催機関からセミナー等の情報をお送りすることもあります。予めご了承ください。

## お問い合わせ

公益財団法人 ひろしま産業振興機構 ものづくり人材育成センター [担当:住井・山田]

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 TEL:082-240-7716 FAX:082-242-7709 Mail:h-jinzai@hiwave.or.jp